

授業参観 PTA総会 学年・学級懇談会 お世話になりました。

ご多用の中、授業参観並びにPTA総会、学年・学級懇談会にご出席いただきありがとうございました。授業参観では、お子さんの今年1年の成長の様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。

佐藤会長をはじめPTA本部役員の皆様、各専門委員会・学年委員会・育成会の役員の皆様には、今年度のPTA活動にご尽力をいただきましたこと、また、今年度で二本松南小父母と教師の会を退会される皆様に、改めて御礼申し上げます。温かいご支援とご協力、本当にありがとうございました。



新聞記事から思うこと

(R8.2.25 福島民報から)

あさか こんさい

来年放送されるNHK大河ドラマ「逆賊の幕臣」に、現在の郡山市生まれの儒学者・安積良斎が主人公の恩師として登場が決まったとの記事が載っていました。良斎は、主人公の幕臣・小栗忠順をはじめ、激動の幕末を生きた吉田松陰や高杉晋作らに教を授け、世界的な視点から国の行く末を案じていた方でした。

安積良斎は、本校ともゆかりがあり、天保7年(1836)二本松藩儒となり、天保14年(1843)二本松藩校敬学館の教授として、二本松に赴任し活躍され、1年半で江戸に戻りました。

記事を読み進めていくと、次のように書いてありました。

良斎は二本松藩校「敬学館」の教授も務め、二本松市と縁が深い。市内の二本松南小、二本松北小などの児童は敬学館が掲げた「敬学の精神」を今も大切に心に置く。

本校の職員玄関、体育館、各教室、職員室、校長室と「敬学」の文字が掲げられています。本校の伝統の重みを感じるとともに、「敬学の精神」を教職員自らが大切に、また、その意味を児童にも伝えていかなければならないと改めて思いました。



心と頭と体を鍛えて素敵な出会いを！

2月18日(水)に本校の卒業生で、小中学校教員を務め、退職された後、現在は、はり師・きゅう師・あんまマッサージ指圧師、筑波技術大研究員として、また、県文学賞エッセー・ノンフィクション部門で正賞を受賞されるなど、ご活躍している渡邊健先生をお招きして、5、6年生への特別授業を行っていただきました。

健先生が大切にしているものとして【心】【頭】【体】、この3つを鍛え、バランスよく保っていくことについてお話しくささいました。

【心】 学びへのエネルギー(希望・夢・願い等) 今の思いに真正面に向き合う。

【頭】 学び 将来のための経験(知識や技能+それを活かす力) 人生が豊かになる

【体】 健康(病気やけがの予防等) 心や頭を大切にするには丈夫な体が必要

3つのバランスをご自身の経験や車にたとえて、子どもたちに分かりやすく説明してくださいました。

丈夫なボディー【体】、空気のいっぱい詰まった右のタイヤ【心】左のタイヤ【頭】がしっかりとついている車(自分自身)。左右どちらかのタイヤがパンクしていれば、車はまっすぐ進まない。ボディーが故障していれば、走ることもできない。3つすべてがそろって、初めて車は行きたい場所へとまっすぐ進むことができる。まっすぐ進んでいくと、その先には、素敵な『出会い』(美しい景色、職業、恋人など)が待っている。進み方が速い人がいれば、ゆっくりな人もいる。他の人と比べて不安になる必要はない。歩みの速い人は新しい景色に多く出会うが、歩みの穏やかな人は足もとのきれいな花に気づく。大切なことは、その速さよりも前を向いて進んでいくこと。

また、風船を使った実験をとおして、「出会いの力」を分かりやすく伝えていただきました。最後には、「ひまわりの約束」「糸」のギター弾き語りで、子どもたちにエールを送っていただきました。

5、6年生の子どもたちにとっては、とても学ぶことの多かった特別授業でした。